

# 平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち  
 政策目標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに  
 重点的取組 3 高齢者や障がいのある人など誰もが自分らしく地域で暮らせるよう支援する

担当課名	福祉保健部 高齢介護課		
予算科目	会計	23	介護保険特別会計
	款	03	地域支援事業
	項	02	包括的支援事業・任意事業費
目	目	01	包括的支援事業

事業名	<b>在宅医療・介護連携推進事業</b>	事業開始年度	平成 26 年度
	多職種連携推進事業	根拠法令 条例 個別計画等	地域支援事業実施要綱

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	高齢者	医療・福祉・介護が連携したネットワークを推進し、高齢者が住みなれた地域で出来るだけ長く生活ができるよう支援する。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
廿日市市五師士会	①廿日市市五師士会と協働した多職種連携を推進 ②地域における医療・福祉・介護のネットワークの推進	佐伯地区医師会 看護協会等	事業実施

## 3 平成 27 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	平成27年度からの介護保険制度改正により、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供することを目的とした在宅医療・介護連携推進事業が地域支援事業として位置づけられた。平成27年度4月から取り組みを開始し、平成30年4月までには全ての市で実施することとなり、地域の関係機関の多職種連携を推進し、連携体制の強化を図った。委託先は、廿日市市の保健・医療・福祉にかかわる専門職団体でつくられた「五師士会」とした。						
	事業内容 ・地域の医療・介護サービス資源の把握 介護の資源の把握 ・在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ・医療・介護関係者の研修 ・地域住民への普及啓発						
コスト情報（円）			開催数	延参加者数			
	専門委員会・会議		21 回	120人			
		研修会・講座		13 回	469人		
目標到達	【歳入】 国 39.0% 県 19.5% 市 19.5% 1号保険料 22%						
	【歳出】 廿日市市在宅医療・介護連携推進事業委託 600 千円						
	財源内訳	項目	平成 26 年度決算	平成 27 年度決算①	①のうちH26から繰越	H27からH28へ繰越	
		直接事業費 A		600,000			
		国庫支出金		234,000			
		県支出金		117,000			
		借入金(市債)					
		その他(使用料など)		132,000			
	市(市税など)		117,000				
	人件費(按分) B	人	1.00 人	8,649,000			
総事業費(A+B)			9,249,000				
単位換算	①	人口(4月1日現在)	117,182 人	117,128 人			
	②	市民1人当たり		79			
活動及び成果指標	活動	活動及び成果指標	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	備考
	活動	専門委員会・会議の開催	件		—	21	
		研修会・講座の開催	件		—	13	
	成果	専門委員会・会議の延参加者数	人		—	120	
		研修会・講座の延参加者数	人		—	469	